

第1回先端膜工学研究推進機構特定テーマフォーラム

～医薬・バイオプロセスにおける膜利用の現状と将来展望～

開催案内

一般社団法人先端膜工学研究推進機構

会員企業各位

平素は当会に何かとご尽力を賜りまして誠に有り難うございます。

この度、先端膜工学研究推進機構といたしまして、新たに特定テーマフォーラムを企画し始めさせていただきましたこととしました。今回のテーマは「医薬・バイオプロセスにおける膜利用の現状と将来展望」とさせていただきました。

近年バイオテクノロジーの発展は加速しており、先日もゲノム編集技術である「クリスパー・キヤス9」を開発したエマニュエル・シャルパンティエ氏とジェニファー・ダウドナ氏の2名がノーベル化学賞を受賞されたことは記憶に新しいと思います。この分野は、次期第5次産業革命になると予想されているバイオエコノミーに関する内容です。この技術の応用分野は医療・医薬品・食品・農業等非常に幅広く活用されると予想されています。これまで、MBA(Membrane Business Academy)におきましても、この分野を注目しており、山本先生からは「『勃興するバイオエコノミーと岐路に立つ日本～デジタル×バイオ時代の到来～』（勃興する新産業の最新状況を知る）」、蓮沼先生からは「先端バイオ工学（バイオ×デジタル×ロボティクス）によるスマートセル開発の最前線」といった内容でご講演いただきました。今回、会員の皆様と更に突っ込んだ検討ができるよう産業界からのご講演も加えたフォーラムとさせていただきました。

尚、今回におきましても一向に収まる気配が無い新型コロナウイルスの影響で、今回はZoomにて開催させていただきたいと考えております。Zoomの接続準備をしていただきたくお願い申し上げます。

大変お忙しい中恐縮ですが是非ご参加いただきたく宜しくお願い申し上げます。

日 時：令和2年12月22日（火）13:00～17:10

(司会進行 新谷卓司 科学技術イノベーション研究科)

プログラム：

1、はじめに

13:00-13:10 「本日のプログラム説明」 科学技術イノベーション研究科 新谷卓司
13:10-13:20 「開会挨拶」 先端膜工学研究推進機構長 松山秀人

2、第1回先端膜工学研究推進機構特定テーマフォーラム

13:20-14:00 「医薬品連続生産実装化と連続膜濃縮技術への期待」
(株)高砂ケミカル 会長 斎藤隆夫氏

14:00-14:40 「バイオ医薬品製造プロセスにおける膜利用」

協和キリン(株) 生産本部 バイオ生産技術研究所 原薬2グループ 細野眞礼登氏、菊池信介氏

14:40-15:20 「バイオ医薬品製造プロセスで利用される膜の特性および評価の要点」

日本ポール(株)バイオテック事業部 バイオプロセススペシャリストグループ 谷山浩将氏

15:20-16:00 「バイオ生産のための原材料の膜による分離精製」

神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 准教授 中川敬三氏

16:00-16:40 「バイオプロセスにおける膜利用の現状と将来展望」

先端バイオ工学研究センター長 蓮沼誠久氏

16:40-17:10 総合討論

モデレーター 先端膜工学研究推進機構長 松山秀人

*各ご講演は質疑応答込みで40分を予定しています。

問合せ先

e-mail: eng-membrane@research.kobe-u.ac.jp

電話：078-871-6954 先端膜工学研究推進機構（進藤）

以上